

平成 16 年 2 月 19 日

各 位

株式会社 埼玉りそな銀行

通帳繰越機の多機能化について

りそなグループの埼玉りそな銀行（社長 利根 忠博）は、お客さまの利便性向上を目的として、通帳繰越機の多機能化を進めてまいります。

普通・貯蓄預金等のお通帳の記帳・繰越の機能を有する機械

当社では、ご来店いただくお客さまのうち、約 3～4 割のお客さまが、お通帳の記帳・繰越をされていることを踏まえ、昨年 10 月までに、埼玉県内のほぼ全ての営業店に、多機能の通帳繰越機を設置いたしました（103 ケ店、計 106 台）。

今後、以下の通り、順次、通帳繰越機の多機能化を進め、店頭におけるお客さまへのサービス向上を図ってまいります。

（多機能化の主な内容）

- ・本年 3 月 8 日（月）より 6 月末までに、全ての通帳繰越機について、平日の取扱時間を 19 時まで延長するとともに、休日（土曜・日曜）での取扱いを順次可能にいたします（現在は平日 18 時までの取扱）。
- ・本年 3 月より、通帳繰越機でのキャッシュレスのお取引を順次可能にしていく予定です。まず、本年 3 月 1 日（月）より同月末までに、全ての通帳繰越機でのキャッシュカードによる振込の取扱を順次可能にいたします。その後、キャッシュカードによる振替、暗証番号の変更、定期預金口座開設等につきましても、順次、取扱を可能としていく予定です。
- ・本年 3 月 1 日（月）より 4 月末までに、全ての通帳繰越機の待ち受け画面や、記帳・繰越時の待ち時間（2 分間程度）を利用し、当社商品・サービスのご案内や、他企業等の広告を掲出するサービスの取扱を開始する予定です。まずは、本年 3 月上旬を目途に、富士通株式会社と本サービスの利用契約を締結し、同社製品の広告を掲出する予定です。
平成 15 年 8 月より、パソコン搭載型の ATM を活用した広告掲出サービスの取扱を開始しております。本件は、同サービスに対応する機種を拡大するものです。

当社では、通帳繰越機の多機能化を図ることで、お客さまの利便性向上を図る一方、「通帳の保管が煩わしい、盗難が心配」、「記帳の手間を省きたい」といったお客さまのニーズにもお応えすべく、本年 3 月より、WEB 上に通帳機能・インターネットバンキング機能を持たせた通帳不発行型の総合口座「TIMO」（ティモ）の取扱も開始いたします。

今後ともお客さまの目線でサービスをご提供し、「真の金融サービス業」への転換、「好感度 No. 1 銀行」を目指してまいります。

以上